

学修行動・成果アンケートについて（3年生）

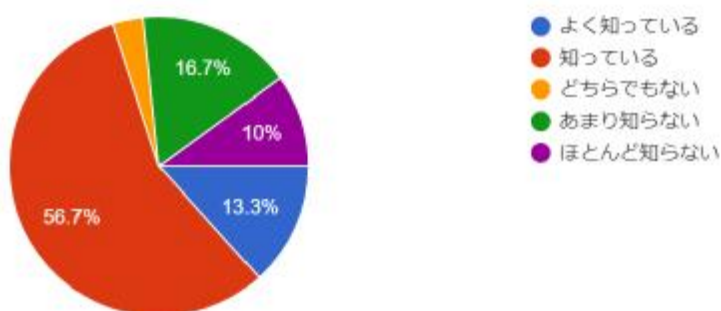
学長室  
教務委員会

高千穂大学では2022年度より学修行動・成果アンケートを実施しています。3年生は、本学のゼミナール連合本部によって実施し、全学的に取り組んでいるゼミ発表会後に、本アンケートを実施することで、学修成果を測るものとしています。3年生は11月13日から12月23日にかけて実施いたしました。Googleフォームを用いたオンラインで調査を行い、30名（2022年度98名）からの回答を得ました。

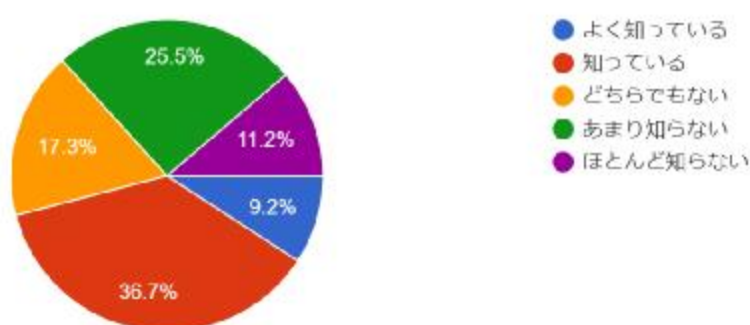
本アンケートは大学の学風の指針、目標についての理解、学修行動（出席状況、取り組み）、教養・専門知識、スタディスキル、社会人基礎力について問うております。それぞれの結果については以下の通りです。

1 高千穂大学の「学風の指針」「学風の目標」について知っていますか。

2023年度



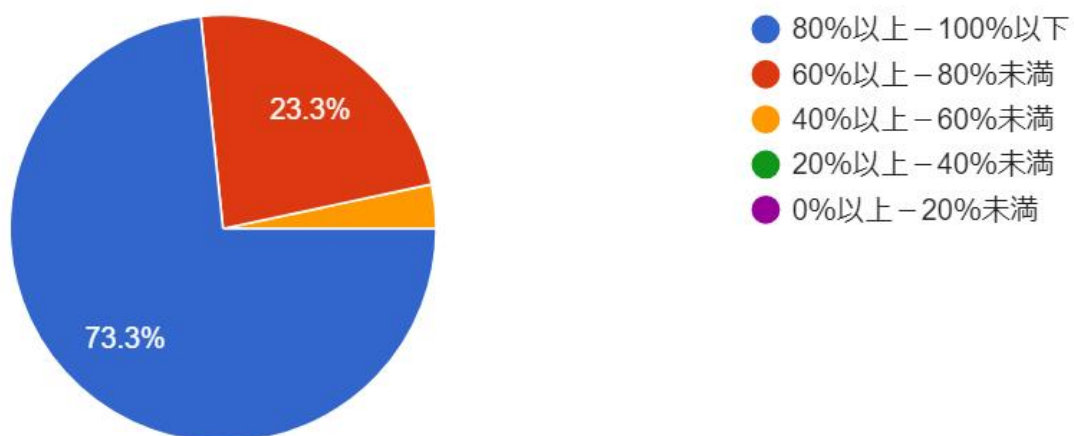
2022年度



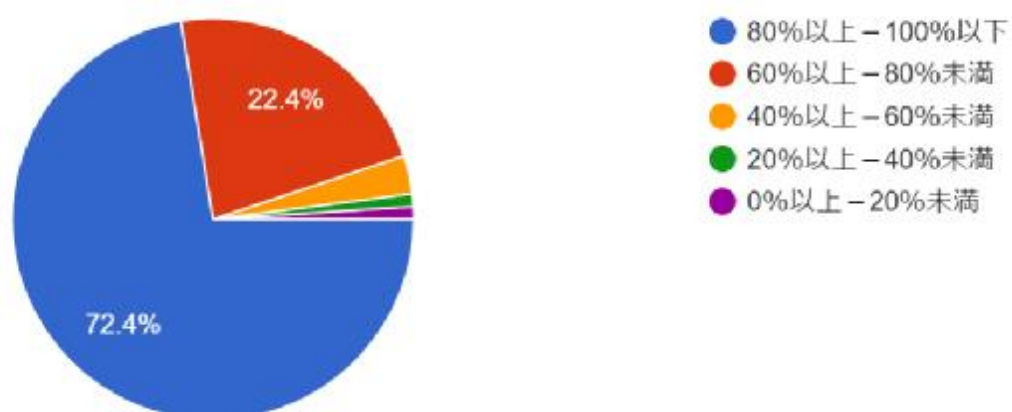
2022年度と比べると、よく知っているおよび知っているという比率が高くなっている。これは対面でのイベントなどを通じて本学の学風の指針や学風の目標に触れる用になったためであると考えられる。

## 2 授業に出席している割合はどのくらいですか。

2023年度

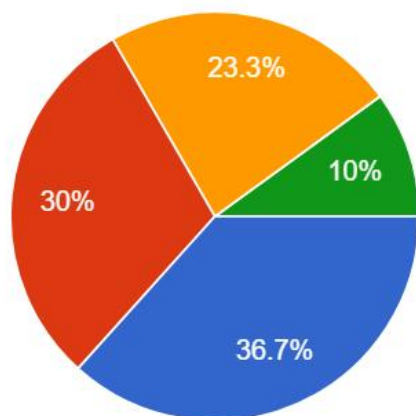


2022年度



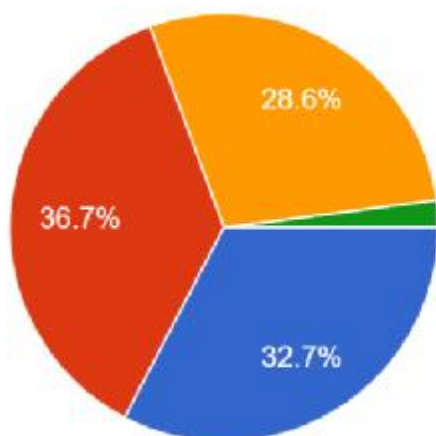
ほぼ変わらず高い比率で出席しているということがうかがえる。これについては昨年度も記載しているが、学生への授業参加を促す教員が多いためであると考えられる。

3 授業に対して積極的に取り組んでいますか  
2023年度



- 積極的に取り組んでいる
- やや積極的に取り組んでいる
- 取り組んでいる
- あまり取り組んでいない
- まったく取り組んでいない

2022年度



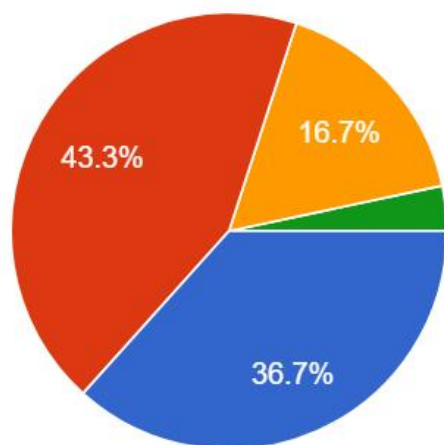
- 積極的に取り組んでいる
- やや積極的に取り組んでいる
- 取り組んでいる
- あまり取り組んでいない
- まったく取り組んでいない

コメント

「積極的に取り組んでいる」および「やや積極的に取り組んでいる」と回答している比率が3分の2以上であり、本学学生が熱心に取り組んでいることがわかる。

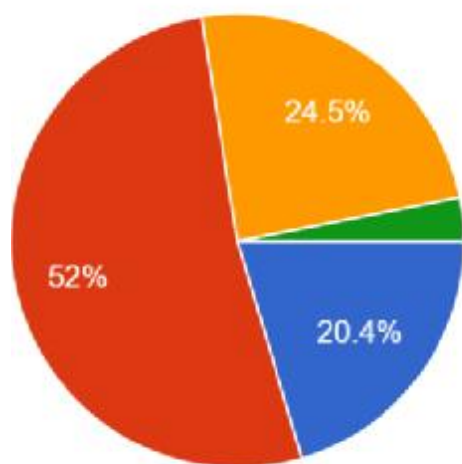
#### 4 幅広い知識や教養を身につけている。

2023年度



- 当てはまる
- やや当てはまる
- どちらでもない
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない

2022年度



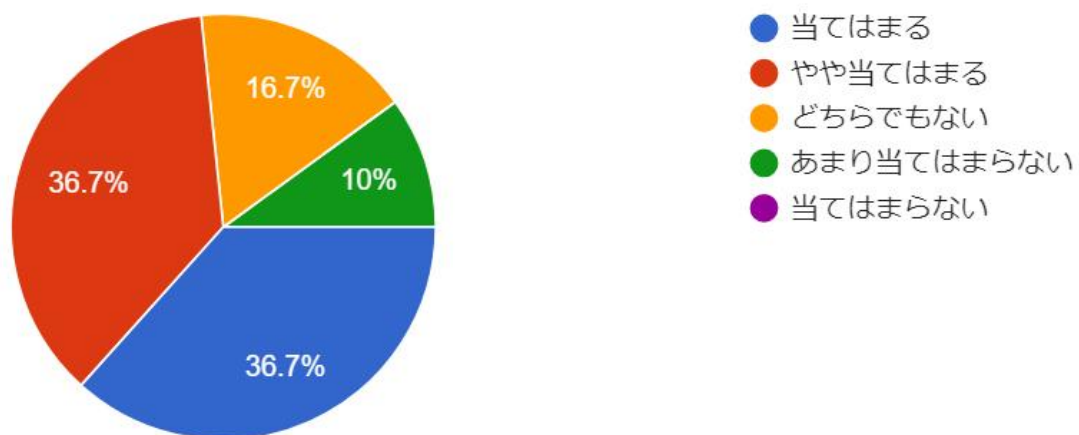
- 当てはまる
- やや当てはまる
- どちらでもない
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない

#### コメント

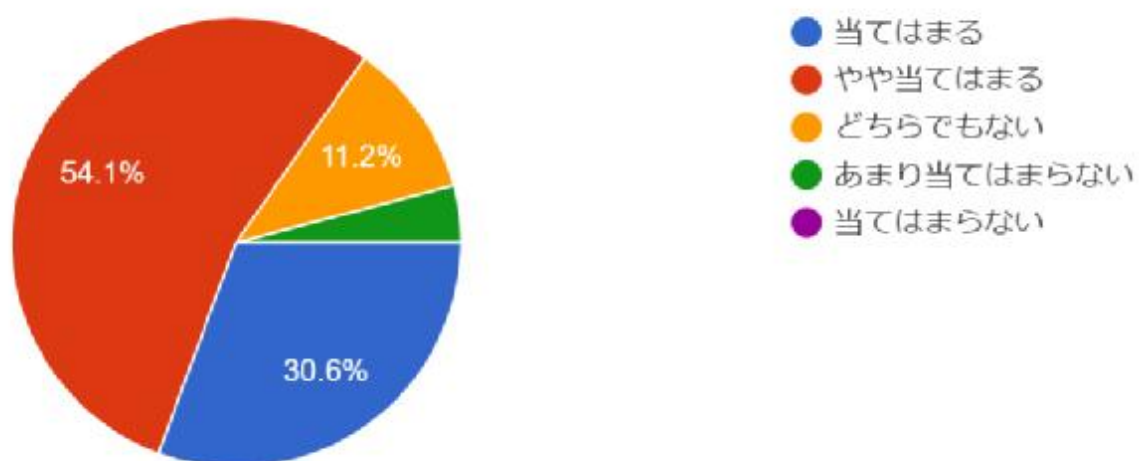
3年次となり、専門科目に加えて、関連科目および他学部科目を履修することになるので、幅広い教養を身につけるようになる。その結果が現れているといえる。

5 学部・学科で学ぶ専門知識を身につけている。

2023年度



2022年度

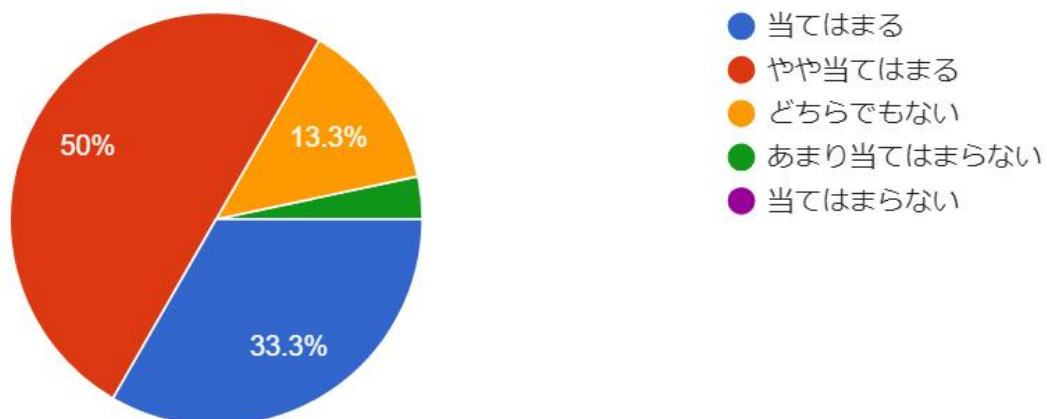


コメント

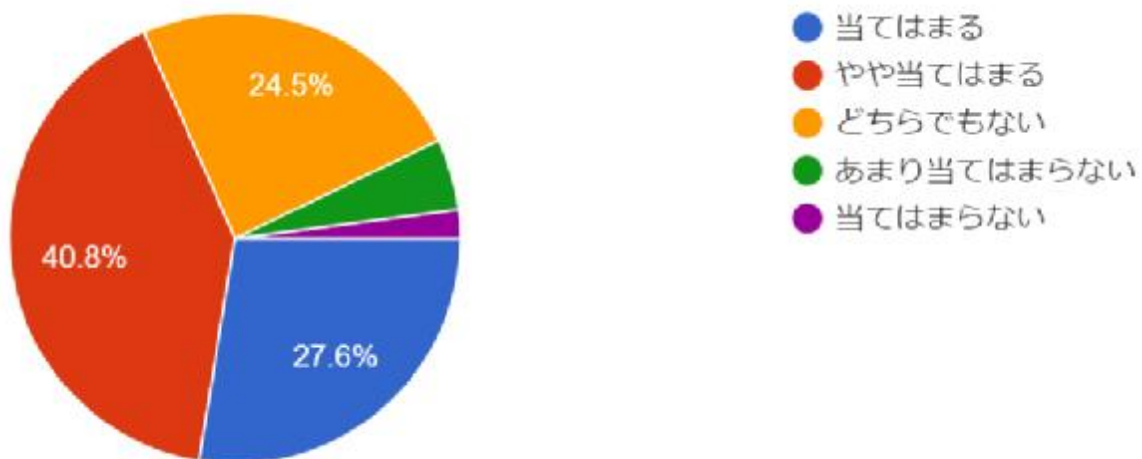
コース選択が2年次に行われ、3年次には多く専門科目を履修する。さらに、プレゼンテーションを前提としたゼミ発表会でより知識を深めることになるので、その結果が現れているといえる。

## 6 レポートの作成で必要となる情報収集技能を持っている

2023年度



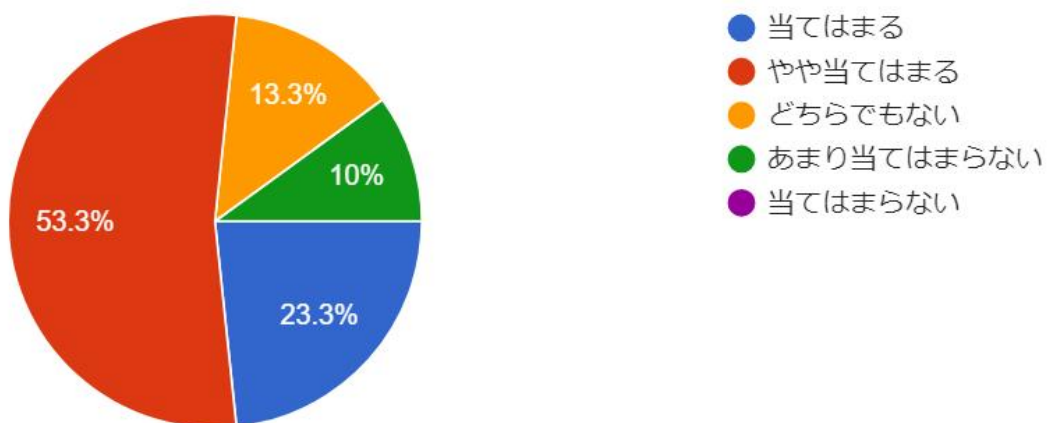
2022年度



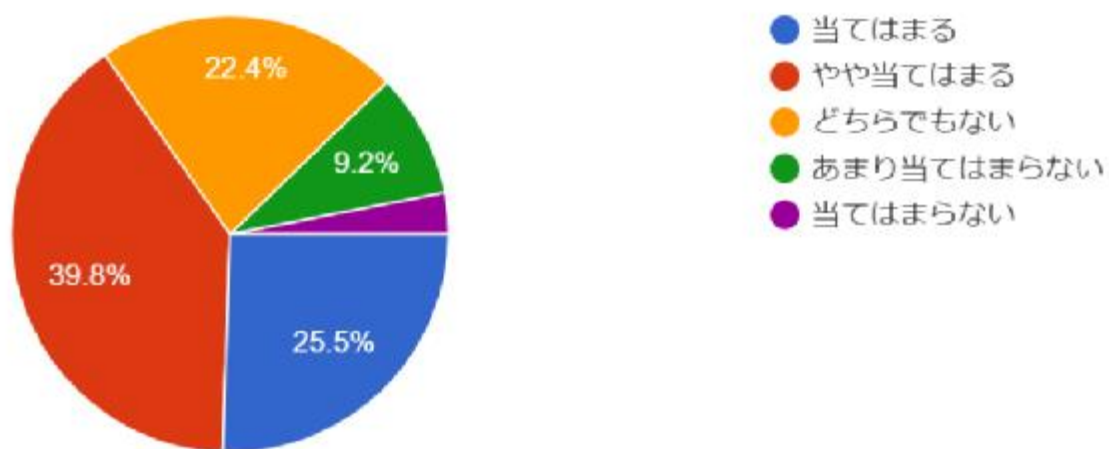
### コメント

2年次よりも「当てはまる」および「やや当てはまる」の比率が高くなっており、順調に力がついていることが実感されている。

7 レポート作成に必要な文章作成技能を有している  
2023年度

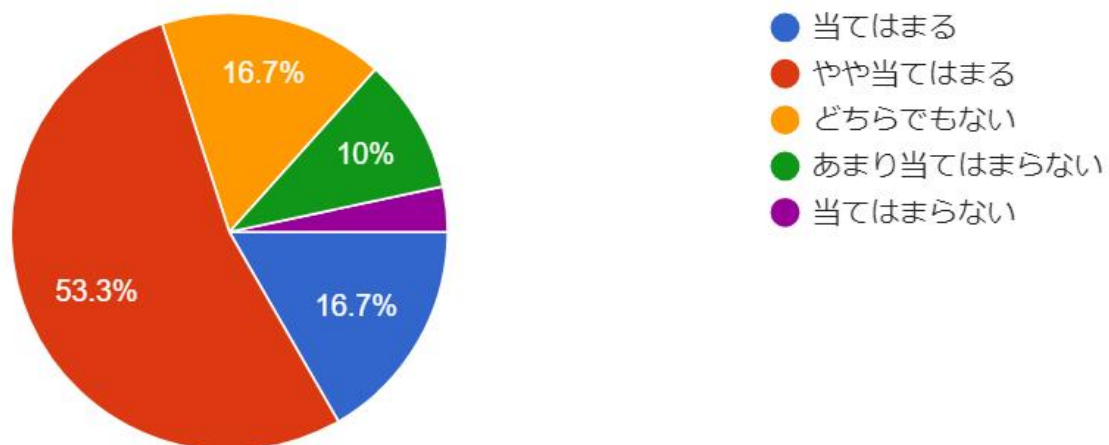


2022年度

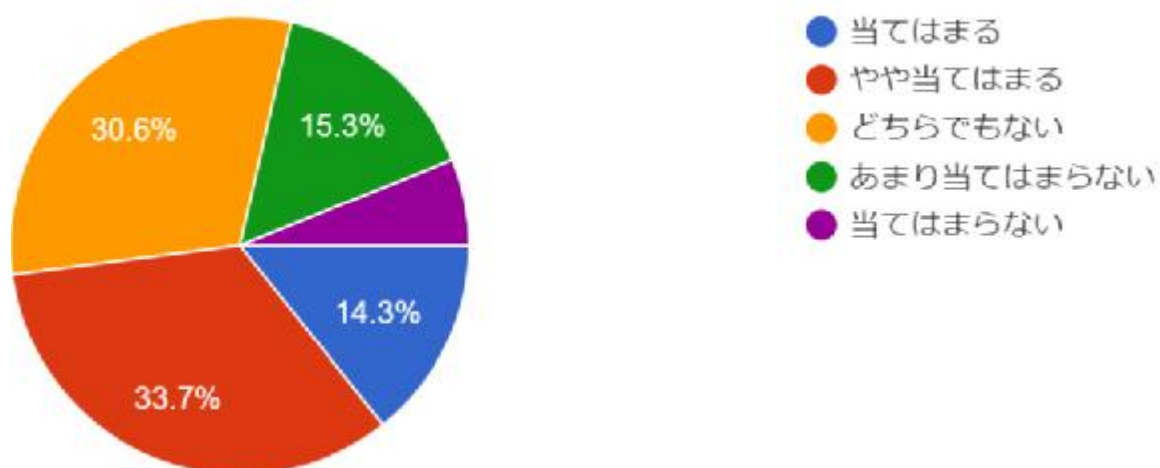


コメント：対面授業が増え、レポート課題よりもプレゼンテーションが増えてきている結果であると考えられるが、それでも一定数のレポート作成能力が高まっているといえる。

8 プレゼンテーション能力を有している  
2023年度

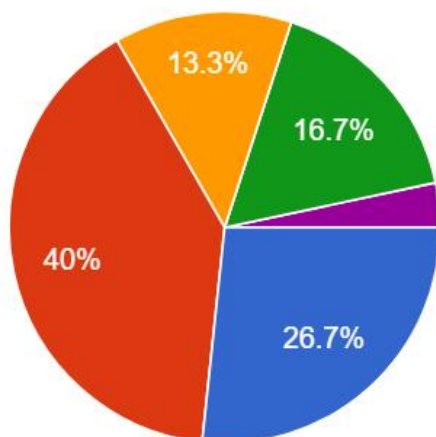


2022年度



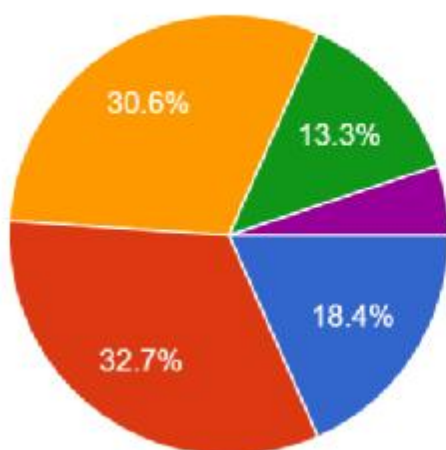
コメント：2022年度と比べるとこの能力が高くなっていることがわかる。ゼミ発表会に向けてプレゼンテーション能力が高まるため、本学の教育の成果が現れているといえる。

9 前に踏み出す力が身についている  
2023年度



- 当てはまる
- やや当てはまる
- どちらでもない
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない

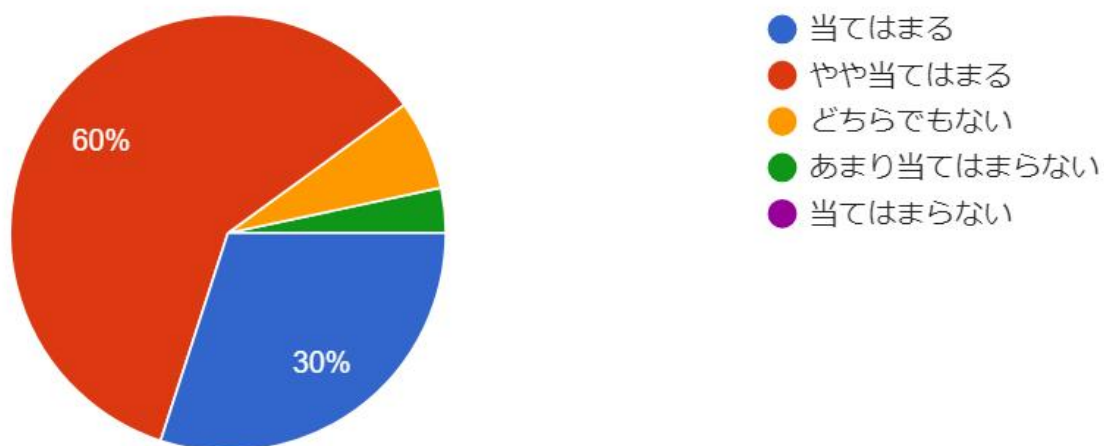
2022年度



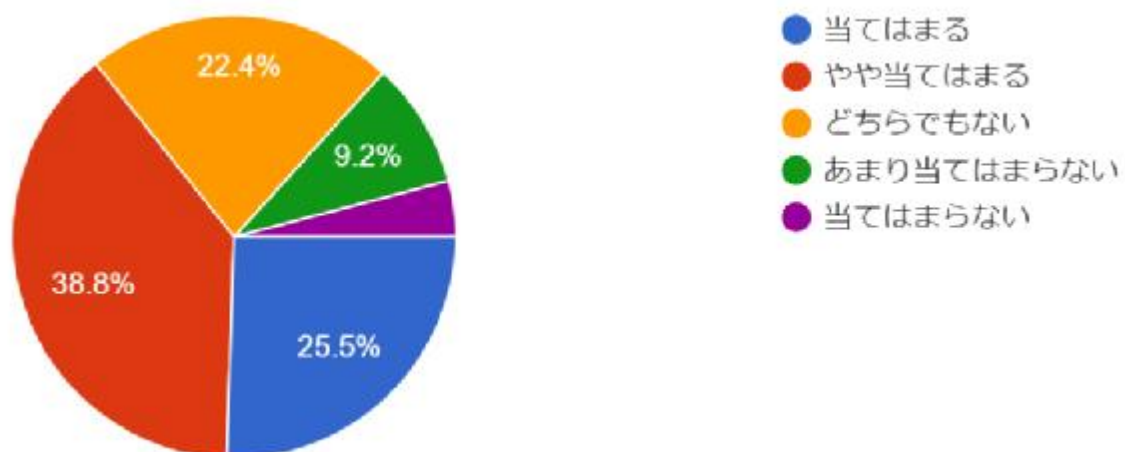
- 当てはまる
- やや当てはまる
- どちらでもない
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない

コメント：キャリア教育を通じた社会人基礎力を認識するようになり、前に踏み出す力の重要性も認識して行動に移していることが示されている。

10 考え抜く力が身に付いている  
2023年度

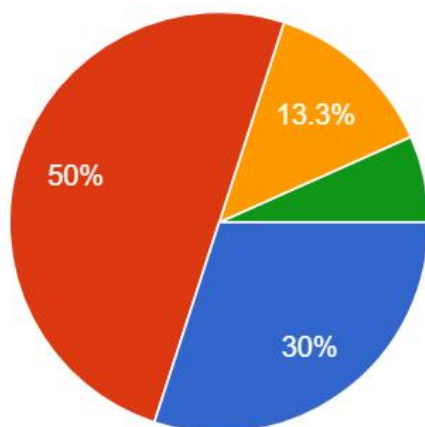


2022年度



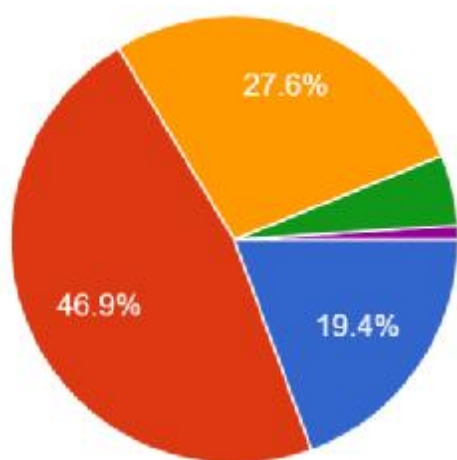
コメント：主にゼミ発表会を通じて、自分の考えや意見をまとめることになり、これを通じた力が身に付いているということができる。

11 チームで働く力が身についている  
2023年度



- 当てはまる
- やや当てはまる
- どちらでもない
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない

2022年度



- 当てはまる
- やや当てはまる
- どちらでもない
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない

コメント：ゼミ発表会でのチーム活動を通じて、力がついていることが示されている。

以上